

# なかがわ 議会だより

No 146

2023.10

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



総務常任委員会所管調査で、比布町立中央学校を視察

## 主な 内容

- 第3回定例会【一般質問2氏】
- 総務常任委員会・経済常任委員会 所管調査報告
- 議会日誌
- 編集後記

# ◆第3回定例会◆

令和5年第3回定例会は9月14日招集され、会期を10月3日までとし、2議員による一般質問、承認2件、報告2件、議案3件、予算補正1件、意見書1件、会議規則4件、決算認定6件を決議し、閉会しました。



第3回定例会の様子

## 議案審議結果

【承認】

▼専決処分の承認について  
(8月5日大雨災害)

▼令和5年度中川町一般会計予算補正 【原案承認】

歳入歳出総額にそれぞれ649万4千円を追加し、予算総額をそれぞれ41億8470万円1千円とする。  
主な補正内容は排水機場の燃料費、町道の改修費用、パークゴルフ場の消毒費用の追加。



天塩川の増水で冠水したパークゴルフ場

▼専決処分の承認について

▼令和5年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

【原案承認】

歳入歳出総額にそれぞれ100万円を追加し、予算総額をそれぞれ2億4792万円

とする。

主な補正内容は安平志内浄水場取水口の土砂除去費用の追加。

【報告】

▼令和4年度中川町健全化判断比率の報告 【報告済】

令和4年度中川町健全化判断比率のうち、実質公債費比率は13・8%。早期健全化基準25%を下回る。

▼令和4年度中川町資金不足比率の報告 【報告済】

令和4年度は資金不足が生じなかったため数値なし。経営健全化基準20%を下回る。

【議案】

▼特別職の給与の減額支給に関する条例の制定について

【原案可決】

7月に判明した公用車の車検切れの責任を取り、10月分の報酬から町長が10%、教育長が7%を減額する。

▼中川町道路線の変更について

【原案可決】

民間賃貸住宅の建設に伴い、ひばり団地5号線の路線を延長。

▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

【原案可決】

「後志広域連合」の加入に伴い、規約を改正する必要があるため、議会の議決を求めるもの。

【予算】

▼令和5年度中川町一般会計予算補正 【原案可決】

歳入歳出総額に、それぞれ1072万9千円を追加し、予算総額をそれぞれ41億9543万円とする。  
主な補正内容は、条例規則等の整備委託、移住定住対策推進協議会補助、特養の屋根修繕費、商工業活性化推進条例補助、ポンピラアクアリスイング基本計画修正業務委託の追加。道営農地整備事業負担金の減額。

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続調査の申し出

(総務常任委員会)

■事件

- 1 福祉施設のあり方について
- 2 少子化に対応した学校教育について
- 3 総務常任委員会にかかわる施策について

■期限  
令和5年第3回定例会まで。

▼閉会中の継続調査の申し出  
【継続調査決定】  
(経済常任委員会)

- 事件
- 1 ポンピラアクアリズイングの大規模改修について
  - 2 地場資源の活用と地場産業の振興
  - 3 働き手不足の解消策について
  - 4 経済常任委員会にかかわる施策について

■期限  
令和5年第3回定例会まで。

▼閉会中の継続調査の申し出  
【継続調査決定】  
(議会運営委員会)

- 事件
- 1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限  
令和5年第3回定例会まで。

【継続調査決定】

▼議員派遣の件について

上川管内町村議会議員研修会  
【議員派遣決定】

【意見書】

▼国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

■地方自治法第99条の規定に基づき関係各位に送付。  
※意見書の要旨は7ページに記載

【決算審査】

10月2日・3日の2日間にわたり審議され原案が認定されました。

結果 賛成6 (反対1)

詳細については、次号にてお知らせします。

## 質疑応答

▼中川町道路線の変更について

問 ひばり団地5号線の延長はここで終わりか。

答 路線の終点を約40メートル延長した。将来的に宅地造成



延長されたひばり団地5号線

地と接続すべきかは、今後検討したい。

▼令和5年度中川町一般会計予算補正

問 令和6年度に向けた機構の見直しについては、住民が使いやすい庁舎となるのか。

答 組織の効率性向上を図るとともに、庁舎のレイアウトなど住民の利便性や、わかりやすさにも配慮したい。



現在の役場庁舎内

問 幼児センターへの送迎では、バス車内への置き去り防止は、どのように行っているのか。

答 スクールバスに幼児が乗車する場合は保育士が同乗し、運転手と二重で乗降を確認している。補正予算により警報器を設置する予定。

問 温泉の浴場の故障が続いて

いるが、しっかりとした修繕やスピード感を持った大規模改修の進行が必要ではないか。  
答 施設の一点検を予定しており所要の補正をしながら故障の抑制に繋げたい。大規模改修については、新型コロナナ

の環境変化や、アドベンチャートラベルの機運の高まりで、基本計画の見直しの必要性が出てきた。スピード感をもって進め、議会や住民への説明もしっかりと行いたい。

## 全道の議会広報研修会に

### 参加しました

議会広報研修会が札幌市内で8月17日に開催され、広報特別委員会の委員2名と職員1名が、住民に伝わる広報紙作りを学びました。研修会には、全道各地の町村議会から参加者が集まり、読者を意識した編集や情報の構造化、表現方法など、専門的な編集ポイントを講師から学びました。また、他町の議会広報紙を素材に、住民に伝わりやすい、わかりやすい広報紙にするための改善箇所も例示され、実践的な研修内容でした。

今後は本町の議会だけでなく、一人でも多くの方に手に取ってもらえるよう努力していきます。



# 問 「部活動地域移行」どう進める？

## 答 地域の力、外部講師の力を結集させ子どもたちがスポーツに接し、継続して親しむことを目指す

### 今野議員

今年度より中学校の運動部活動地域移行実証事業が進められているが、今後どう地域と連携して取り組むのか特に以下の4点について伺う。

- ① 予算可決後の実際の事業実施状況
- ② 地域移行に向けた関係団体、住民等との議論状況
- ③ 対象となる生徒、保護者への対応
- ④ 地域移行に関する今後の展望

### 石垣町長

運動部活動の地域移行とは、これまで公立の中学校で教員が担ってきた部活動を、地域のスポーツクラブなどに移行することを指し、その背景には近年社会問題化している教員の多忙化が挙げられる。そこで、令和5年度から公立中学校の休日の部活動を段階的に地域に移行していくこととなり、本町の運動部活動の地域移行においては、「なかがわスポーツくらぶ」をその受け皿として、地域の力、そして外部講師の力を結集させ、将来にわたって子どもたちが様々なスポーツに接する機会や、スポーツを継続して親しむことができることを目指していく。



小中学生を対象としたバドミントン教室

質問の1点目については、休日に行われる部活動各種大会の送迎車両の借り上げ、運転業務の委託などとなっている。また、4月には町外の専門家によるバドミントン教室および陸上・かけっこ教室を実施し小学3年生から中学生



今野大樹 議員



中川中学校の陸上部のようす

を対象として、小学生には中学校の部活種目であるバドミントンと陸上に親しむ場、中学生には専門家の指導による競技技術向上の場としている。今後も、アスリートや専門家を講師として招へいし、実技指導教室を行っていく。2点目については、令和4年度から関係者間での情報交換と準備をすすめ、5月には小中学校の全教職員を対象に「運動部活動地域移行説明会」を開催し意見集約を行ってきた。

3点目については、8月に小学5年生、6年生から中学生および保護者、中学校教職員全体に運動部活動地域移行にかかるニーズや問題点、今後の方向性の調査のため中学校運動部活動に関するアンケート調査を実施し現在、その結果を分析している。課題や望ましい地域連携のあり方など、今後の方向性を定める議論に反映させていく。

4点目については、2点目で申し上げた「運動部活動地域移行説明会」および「部活動のあり方検討会議」での議論、アンケート結果や今回の実証事業の取り組みを通じて浮かび上がった課題と解決への方向性を確認しながらすすめていく。

今後は、町内スポーツ・部活動関係者代表で組織する「部活動のあり方検討委員会」を設置し、持続可能な地域部活動モデルを、保護者、関係団体、地域住民のみならず示したい。また、運動部活動のみならず文化部活動においても地域移行に向けた議論をすすめていく。

### 今野議員

中川町には陸上を専門とする競技者はいないと思われる

が、そういった指導の対応は。高橋教育長

### 高橋教育長

専門の指導者を招いての講習や指導はもちろん、地域の方にも指導のポイント、アドバイス視点と一緒に学ぶ場としていく。また、オンラインによる指導も取り入れていきたい。

### 今野議員

地域の指導者の負担軽減やケアについてはどう考えるか。

### 高橋教育長

報酬のあり方や、スキルアップに対する保証など予算措置含め検討が必要であり、また全てを地域に移すのではなく、学校・教員と地域がそれぞれ担う部分があり、連携して進めていくものだと考えている。

### 今野議員

地域移行といっても、結局は教員が立場を変えるだけではない。

### 高橋教育長

その可能性は当然にあると考えている。働く上で部活動指導を大きな動機としている教員もいる。今後は指導者の負担を軽減するサポーター制度も取り入れながら地域移行を進めていきたい。

# 問 診療所の看護師不足について問う

## 答 医師や専門家の意見を聴き 地域医療を守る

### 小池議員

診療所の看護師不足は5年前から抱え、医療体制が整っておらず地域住民へ不安と不便を与えてきました。地域医療は「健康で文化的な生活を営む権利」が憲法で保障されており、地域住民が安心して質の高い医療サービスを提供されることとなっております。

町長の提言では地域住民が安全・安心な暮らしを守る施設と医療サービスが持続的に提供できるとあります。しかし、これまでの診療所運営体制は充実しておらず基本目標とかけ離れた実態であります。看護師不足はコロナ禍の影響と説明をされてきましたが、現在は5類に移行されており、看護師不足は5年目を迎え、診療所の運営体制は一向に改善されていないがその原因は何か。また、地域住民に不安と不便を与えてきたことに對し町長のお考えをお聞きします。

1 今後の看護師確保について

2 今後の指定管理者について

3 今後の医療体制について

### 石垣町長

第2期中川町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、高齢になってもずっと住み続けられる町を目指し、医療体制の充実を図り医療スタッフ確保の支援、保健事業と連携した医療、センター病院と連携した救急医療の充実を掲げています。入院業務は、看護師6名以上が必要ですが、看護師の確保支援は目標に到達していません。看護師不足は5年前以前から抱えており、大きな課題と認識しております。

入院機能を持続的に提供されていないことは、施設



外来や救急対応を担う町立診療所



小池 豊 議員

設の設置者としてお詫びいたします。

1 点目の看護師確保について、現在、ハローワークや道内の全ての医療職求人サイトに登録を行っています。また、地元就業する看護師を対象とした就労支援金を使い人材確保に努めており、令和5年度は2名の常勤看護師が本制度の活用により入職しましたが、病棟を再開するまでには至っていません。

2 点目と3 点目について、診療所の指定管理契約期間の5年間で、令和6年3月31日をもって満了となります。病棟については、再開と休止の繰り返しが続く、地域の医療を担う唯一の機関として安定的な入院機能の維持が必要と認識しています。

次期の指定管理の委託についても、外来や救急対応とともに入院機能を含め、安定的な地域医療体制の仕組みが必要と考えます。医療サービスの提供に空白が生じないよう、

また、持続的に提供されるよう環境整備をすすめていきます。

### 小池議員

看護師不足問題は、既に5年目を迎え一向に改善策に向かった体制が現れておらず町長の目標や計画からかけ離れた実態であるが、改善に向けた理由は何か。

### 石垣町長

標会の体制で4年が過ぎた中で、この間病床診療業務が20カ月で、半分に満たない現状です。有効な手が打てなかつた為に病床の休止期間が度々生じてしまったことと認識しております。

### 小池議員

指定管理者についてこれまで契約を交わされているが、契約通りに遂行されているか。

### 石垣町長

指定管理内容を目指すことが当然でありありますが、指定管理契約が十分に達成されている状況ではありません。今後、有効な制度を検討し、看護師確保の支援に努めてまいります。

### 小池議員

看護師不足が続く入院機能が果たせないなら、住民の安心感を得るために、救急車で名寄市立病院へ搬送された患者さんの退院時の交通手段の確保を、行政が負担するよう取り組むはどうか。

### 石垣町長

通告にある看護師不足の件で進めていきます。行政としてそうしたことを考えていないわけではなく、救急車搬送後の対応の提案もいただいたが、看護師確保に向けた様々な提案も含めて行政も良い案があればできる限り検討して取り組んでいきたいと考えています。

### 小池議員

町長の基本目標にあるように、町民が安全・安心に暮らしていける中川町を目指すとするなら、高齢者の方が安心して暮らすよう、名寄方面へ週一回程度の「医療福祉生活」定期運行の施行を行ってみてはどうか。

### 石垣町長

地域医療構想は名寄市立総合病院を中心として、士別市立病院と2つの病院が機能分化を図ったことで、中川町もできる限り一緒になって考えていくと思います。指定管理については病床を維持すべきと考えており、医師や専門家の意見を聴きながら議会とコンセンサスを図って地域医療を守ることを考えております。

# 農産加工、特養、義務教育の先進地を視察

9月18日と19日に、中川町議会総務常任委員会と経済常任委員会の合同で委員6名が、士別市で食用オイルの製造販売を行う合同会社OMEGAファーマーズ、当麻町で個室型の特別養護老人ホームを運営する当麻柏陽会、比布町で小中一貫教育を行う町立中央学校を訪問し、先進的な事例を学びました。

## 農業の6次産業化を調査

### 経済常任委員長 平木総司

士別市内にあるOMEGA（オメガ）ファーマーズは、2019年に道内の8つの生産者と金融機関が結束して設立した合同会社で、廃校となった体育館を工場に、食用オイルの製造販売とそばの受託販売などを手掛け、昨年度の



原料の搬入倉庫のようす

総売上高は約1億3200万円です。



搾油する機械類を視察

調査は食用オイルを中心に、亜麻、えごま、なたねを原料とした付加価値の高い食用オイルの商品開発、ブランド化、百貨店やインターネット販売などについて説明と質疑を行いました。

農業の6次産業化を始めたきっかけから商品販売までの

説明を受けましたが、我が町に置き換えると、いささかハードルが高い印象でした。特に生産者だけの事業化では、商品開発や販売のノウハウが乏しく、民間企業とタッグを組むなどの工夫が必要と感じました。

今後の中川町に合った6次産業化の可能性について、調査を行いたいです。

### 参加した委員からひとこと

#### 菊地広幸委員

「6次産業化を実際に見聞きして、今後は中川町でも前向きに検討が必要と感じた」

### 個室型の特養を調査

#### 総務常任委員長 佐々木英和

当町の特別養護老人ホームの老朽化が進む中、当麻町内の個室型（ユニット型）の特別養護老人ホーム（以下、特養）の調査を行いました。

運営する社会福祉法人当麻柏陽会は昭和59年に設立、一心苑と同じ多床室の特養（定員50名）のほか、シヨートス



個室型の特養を視察

いては町からの補助金に頼ることなく施設運営ができていくとのことでした。

中川町では、働き手の確保が大きな課題であり、外国人労働者も含め様々な人材確保の手段を検討していく必要があります。

また、施設の老朽化についても、新設も視野に、入所定員の見直しや個室型の検討などに取り掛かる必要性を感じました。

### 参加した委員からひとこと

#### 若山真一副委員長

「とても細部まで配慮された施設でしたので、今後、中川町でも取り組む際には、見習う点が多かったと思います」

#### 佐藤輝雄委員

「個室型の居室は面会に来る家族にとっても好ましく感じられる。高齢者福祉は、議会でも重要な位置付けであり、今後も調査を継続したい」

#### 今野大樹委員

「旭川ベッドタウンの優位性と、当該法人の経営能力の高さが、健全な経営に繋がっている実態を知ることができた」



当麻柏陽園の前にて

## 義務教育学校を調査

小中一貫教育の可能性を探るため、令和4年4月に開校した9年生の義務教育学校の比布町立中央学校を調査に訪れました。

同町では平成26年から小中連携事業がスタートし、小学校の敷地へ中学校が移転、併設型小中一貫教育校への改編などを経て、昨年からは小学1年生から中学3年生までを、1年生から9年生とする義務教育学校となりました。



義務教育学校の説明を受けるようす

比布町教委の説明では、小中学校を一つにするには、想像以上の問題点があり、クリアするために、町、教委、学校、保護者が多くの話し合いを重ねてきたとのこと。  
中川町でも児童生徒数が更に減少しても、学力強化や、

競争心、共助心が育まれるよう、義務教育学校も有力な選択肢が必要と思われまます。



視察した比布町立中央学校

### 参加した委員からひとこと

#### 若山真一副委員長

「事業を成し遂げるには、実施する側の覚悟、本気度合いが、かなり重要であることを教わりました」

#### 佐藤輝雄委員

「義務教育学校は、従来の学校教育とは異なる新たな価値観を感じた。社会で生きる力をつける教育がより実践できるのではないか」

#### 今野大樹委員

「町、小学校、中学校が高い意識をもって進めていたこと、また、良い面だけを説明しないことでこの政策への真摯さを感じた」

## 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

主要要請内容は次の通りです。

- 1 道路の整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設及び必要な予算を確保すること。
- 2 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を例年以上の規模で確保するとともに、5か年加速化対策期間完了後も、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況を踏まえ、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むこと。
- 3 高規格道路におけるミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化や、直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築など、国土強靱化に資する災害に強い道路ネットワークの整備を推進すること。
- 4 橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進し、予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、維持管理・更新事業に必要な技術的支援の拡充や予算を長期安定的に確保するほか、舗装修繕等の維持管理に係る制度創設や財政支援の充実・強化を図ること。
- 5 地域の安全な暮らしや経済活動を支える基盤づくりのため、子どもたちの安全・安心を守る通学路等の交通安全対策を強化・推進するとともに、冬期における安全な道路交通を確保するための道路整備や除排雪を含む安定した維持管理の充実に必要な予算を確保すること。
- 6 維持管理に活用可能な交付金制度を創設するとともに、公営住宅など公共施設の長寿命化について、すべての管理施設の点検や診断、補修、更新が交付対象となるよう採択要件を緩和するなど、地方負担の軽減を図ること。
- 7 冬期における円滑な交通確保のため、除排雪に必要な予算を確保するとともに、老朽化が進行している除雪機械等の計画的な更新・増強が可能となるよう財政支援を強化すること。
- 8 堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するため、粘り強い堤防の整備に関する交付金制度の拡充や準用河川改修の事業要件緩和、小規模河川改修に対応した財政、技術支援制度の創設など、「流域治水」の取組に必要な財政支援を更に強化すること。
- 9 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年9月14日

内閣総理大臣他6名宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄

# 議会 会 目 誌

## 7月

- 26日 第12回全員協議会
- 〃 第4回臨時会
- 29日 北口ゆうこう道議と語る  
青空の集い 【土別市】

## 8月

- 3日 中川まつり
- 5日 鈴木宗男・貴子北海道七  
ミナー 【札幌市】
- 16日 中川町納涼盆踊り大会
- 17日 全道議会広報研修会
- 24日 中川村様歓迎懇親会  
【札幌市】
- 30日 国際交流公演会・山崎内  
閣官房講演会【鷹栖町】

## 9月

- 1日 第8回議会運営委員会
- 3日 鈴木直道政経セミナー  
【札幌市】
- 〃 中川町スポーツ少年団創  
立記念剣道大会
- 6日 第13回全員協議会
- 〃 第9回議会運営委員会
- 8日 中川町敬老会
- 14日 第14回全員協議会
- 〃 第3回定例会（1日目）
- 15日 中川中学校第76回学校祭
- 17日 秋味まつり
- 19日 総務・経済常任委員会所

## 10月

- 管調査（20日まで）
- 【土別市・当麻町・比布  
町】
- 2日 第3回定例会（2日目）
- 3日 第3回定例会（3日目）
- 5日 総務大臣表彰式【東京都】
- 12日 北・北海道高速交通フオ  
ラム 【名寄市】
- 14日 高橋はるみ政経セミナー  
【札幌市】
- 16日 北部市町村議会議長会定  
例会 【土別市】
- 17日 上川町村議会議長研修会  
【当麻町】
- 19日 上川管内町村議会議員研  
修 【旭川市】

## 佐藤議長が総務大臣表彰を受賞

平成23年5月10日より現在まで、中川町議会の議長を務めている佐藤輝雄議長が、町村議会議長として12年以上在職し、地方自治の発展に功労があつたと認められ、鈴木淳司総務大臣から表彰状が授与されました。表彰式は10月5日に東京都内で行われ、表彰された全国の町村議会議長25名の一人として鈴木総務大臣から表彰状を受け取りました。佐藤議長は「これまで長く議長を務めてこられたのは、町民の皆様や多くの方々の支えがあつてのこと。これからも、町のために精一杯職責を果たしていきたい」と感慨深く話していました。



## 編集後記

今年の夏は近年にはないほどの猛暑が続き、多くの町民にとつて厳しい季節でした。しかし10月に入り、季節が急速に秋へと変わりつつあります。9月中旬には4年ぶりに河川敷イベント広場で、丸太押し相撲大会・秋味まつりが開催され、町の魅力を発信することができました。

このイベントには多くの町民や町外の観光客が訪れ、楽しい時間を共有し、地域の交流とふるさとへの誇りを感じる瞬間でした。また、議会活動も積極的に行われており、8月には議会広報研修、9月には総務・経済常任委員会での視察など行われました。これらの活動は地域の発展に向けた重要な一環であり、地域活動の役割を果たしていると思っております。

研修内容につきましては、広報誌で詳しく報告させていただきます。今後も、町民の皆様が興味を持っていただける広報誌の充実を図り、地域社会の発展に貢献し、わかりやすい情報発信をしていきたいと思っておりますのでよろしく願います。（英責）

### 議会広報特別委員会

- 委員長 佐々木 英和
- 委員 若山 真一

